

Minami Kyushu Junior College Syllabus						
科目名称	人間形成論					英語コミュニケーション ( ) 留 学 ( ) ビジネス・キャリア (○) ホテル・観光 (○) オフィス情報 (○) 医療事務・医療秘書 (○) スポーツ健康 (○) 大学編入 (○) グローバル (○)
英文科目名称	Personality Formation					
科目コード	511110	授業形態	講義	単位数	2	
教員氏名	植村 秀人		年次配当	1年次	後期	
授業概要及び 授業方法	本授業は、人の成長について、人の学習の視点から学ぶものである。授業は、成人となる事の基準の変化と教育の歴史的な展開を知り、そこから現代における成人の基準を考えることとします。そして、それらを踏まえてこれから私たちが生きていく上で必要な学びなどを考えることとします。 本科目は、講義を中心とするが、より理解を深めるため、グループワークなどを定期的に行う。					
関連する科目	心理学・社会学・現代社会論			学習成果との関係	① ② ⑤	
授業計画	1. はじめに 2. 人の成長を考える①～こどものイメージを考える～ 3. 人の成長を考える?～学校以前の人の育ち～ 4. 人の成長を考える?～子どもの発見～ 5. 子どもと教育①～学校教育のはじまり～ 6. 子どもと教育②～学校の重要化～ 7. 子どものおかれた状況問題①～子どもと貧困・学力の社会学～ 8. 子どものおかれた状況問題②～子どもの虐待～ 9. 子どものおかれた状況問題③～いじめ・体罰～ 10. 子どものおかれた状況問題④～それへの対応～ 11. 人間形成と周りの環境①～ジェンダー問題など～ 12. 人間形成と周りの環境②～障がい者や特別支援教育について考える～ 13. 人間形成の変容①～生涯学習について知る～ 14. 人間形成の変容②～生涯学習と学ぶ権利について考える～ 15. おわりに～人間形成の変容～					
授業時間外の学習	講義の予習や事前課題をこなすこと(各1時間) 講義内容を復習すること(各1時間) 講義時に参考とする書籍(映像資料含む)などを紹介するのでそれらを読む(視聴すること)(10時間)					
授業の到達目標	①子どもの概念のあり様や変化について理解する。 ②社会がむける子どもへの視野や子どもへの原木かけを理解する。 ③子どもにとって重要な学校についてその始まりや重要性について理解する。 ④子どもが置かれている現状について理解する。 ⑤人の生き方が多様化し、常に学び続けるようになることを理解する。					
課題に対する フィードバック	レポート・グループワーク・各自の学習記録の 評価は、試験期間中に説明を行う。			評価方法	授業ごとの感想文 45% グループワークシート 15% 課題 15% レポート 25%	
テキスト	配布資料を用いる					
参考書	○田中克佳 教育史    ○八木透 日本の通過儀礼    ○鳥越皓之 「サザエさん」的コミュニティの法則 ○磯田道史 武士の家計簿    ○加野芳正 新しい時代の教育社会学    ○佐藤晴雄 生涯学習概論 ○木村元 日本の学校受容    ○片桐芳雄・木村元 教育から見る日本の社会と歴史					
備考	1回目講義にて授業概要説明(成績評価の説明含む)を行う。履修登録の変更などで2回目から受講する学生は、別途担当者から指示を受けること。					